# ≪本庄特別支援学校の活性化・特色化方針≫
## （令和４年度～）

## １　学校基本情報

| 種別 | 知的障害 | 学部・学科 | 小・中・高等部 | 児童生徒数 | (男)119 (女) 82 | 計 201 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ホームページ | https://honjo-sh.spec.ed.jp/ | | | | | |
| アクセス | JR 高崎線　本庄駅から武蔵観光バス（寄居行）栗崎または小茂田バス停下車　徒歩８分<br>上越新幹線　本庄早稲田駅下車　徒歩２２分 | | | | | |
| 教育課程等の特徴 | ・キャリア教育を推進し、キャリア教育の視点を踏まえ、小学部～高等部まで系統性のあるシラバス（育てる力）を活用し、１２年間切れ目のない指導支援を展開している。<br>・令和元年度より県内県立学校初となる「コミュニティ・スクール」に指定され、教育を学校内だけで完結させるのではなく、地域の教育資源を活用し、自立と社会参加に求められる資質・能力を育成する「社会に開かれた教育課程」を実践している。<br>・高等部の教育課程を４つに分け、一人一人が持っている力を最大限に活かし、どの子も伸びる教育を実践している。（職業自立型・職業移行型・生活学習型・基礎学習型）<br>・毎週木曜日（午前：職業移行型）・金曜日（１日：職業自立型）生徒と教員が一緒に地域の企業、施設等に働きに出る、本特版デュアルシステム（就業体験学習）を実施している。<br>・全学部１対１を基本とした、自立活動の時間における指導を全学部で展開している。<br>・2020 東京大会に向けて、全校を挙げてオリ・パラ教育を展開するとともに、生涯にわたる多様な学習活動を推進している。 | | | | | |
| 特色ある学校行事や部活動 | ・ハートまつり（文化祭）は各学部の普段の学習の成果を発表する。特に、中・高の作業学習で作った製品販売では、地域の方々にも大好評で、外部から多数の来校がある。<br>・高等部の運動部は県内でもトップクラスであり、今年度は、県特別支援学校陸上大会３連覇をはじめ、サッカー・バスケットボールでも上位入賞を果たしている。<br>・卒業生には、陸上競技（走り幅跳び）で東京パラリンピック出場者がいる。 | | | | | |
| 家庭・地域との連携 | ・「コミュニティ・スクール」として、学校と保護者や地域住民がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を推進している。<br>・マリーゴールドの丘公園では、数年前よりひまわりの種まきを小・中学部の児童生徒が行い、その後の管理を高等部が行っている。また、NPO 法人の野球教室より講師を招いて、月に１日「投げる教室」を小学部の児童を対象に行っている。地域の協力を得ながら子どもたちの教育を進めている。<br>・学校公開を今年度は２度開催する。<br>・できる範囲で近隣学校・施設との交流及び共同学習を各学部で展開している（小：近隣の小学校 2 校、中：老人ホーム、高：合同部活動の実施）。<br>・地元企業、官公庁、福祉施設と連携した本特デュアルシステムを実施している。<br>・地元の各種イベントで高等部作業班製品の販売と学校紹介を実施している。<br>・学区内の幼児・保護者を対象に、年間 10 回の就学前早期支援（はーと教室）を開催する。<br>・保護者個別支援（ハート相談）、保護者同志の悩みを共有し助け合う「ハートミーティングわいわい」を行い、保護者向け子育て支援の充実を図っている。 | | | | | |
| 進路について | ・高等部卒業後の進路状況は一般就労が２～３割、福祉的就労が６～７割となっている。<br>【就業体験学習（本特版デュアルシステム）】<br>・１年生から多様な働く場を体験し主体的に進路を選択し決定する力を育てる。<br>・本庄デュアルシステム推進連携協議会を組織し、官公庁、企業、商工会議所等と連携し進めている。<br>【 企業就労 】製造業（食品、自動車部品）、サービス業（飲食店、小売店）、介護施設等。<br>【福祉的就労】県北地域・本庄児玉郡市の福祉施設。<br>・小学部・中学部の生徒は、それぞれ中学部・高等部へ進学している。 | | | | | |

（※児童生徒数：R3.5.1 現在、進路は R3.3 卒業生の状況）

# 県立本庄特別支援学校 ～児童生徒の成長物語～

学校ホームページはこちらをクリック

**目指す学校像**

○社会的自立を目指し、障害の特性や教育的ニーズに応じた教育を推進する学校
○地域に信頼される特別支援教育のセンターとしての取組を推進する学校

## 特色1 児童生徒個々の課題やニーズに応じた指導支援

○本人、保護者、職員で作り上げる「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」。
○外部関係機関と連携した指導支援体制を充実。
○外部専門家による専門的な指導支援と保護者に対するアドバイス。
○全児童生徒にアセスメントを実施し、根拠のある指導支援。
○「太田ステージ」「NC-プログラム」「職業教育総合評価表」等
○支援を要する児童生徒の改善のために迅速なケース会、カンファレンスの実施。

## 特色2 シラバスを活用した系統性のある指導支援の充実

キャリア教育の視点を踏まえた系統性のある「本校独自のシラバス」を作成・活用し、各学部段階における育てる力を明確にし、教育指針・指標としています。

## 特色3 自立活動の時間における指導の充実

お子様の自立に向けて、障害による学習上、生活上の困難を克服するために、必要な、知識・技能・態度を身につけ、心身共に健やかに成長する土台を身につけます。

## 特色4 高等部教育課程の複数化

高等部では教育課程を4つに編成し、生徒一人一人が持っている能力を最大限に伸ばし、**障害の状況に、より即した教育**を実践しています。
「職業自立型」「職業移行型」
「基礎学習型」「生活学習型」

各学部の教育はこちら

## 特色5 学校・家庭・地域との連携

*県内県立学校初「コミュニティ・スクール」*

**学校との連携**
小学校との交流及び合同学習、支援籍学習、高校と合同部活動 等
**家庭との連携**
「ハート相談」、「ハートミーティングわいわい」等の保護者子育て支援の充実 等
**地域との連携**
地元企業、官公庁等と連携した、就業体験学習（本特版デュアルシステム）の実施
「地域と共にある学校」づくりの推進

## 特色6 高等部 運動部の活躍

本校運動部の実績は**県内でもトップクラス**。特別支援学校陸上大会３連覇をはじめ、サッカーやバスケットボール競技においても毎年上位に入賞しています。部活動生のほとんどが初めは運動が苦手でしたが、毎日の積み重ねで運動が好きになっています。
また、陸上競技日本代表として活躍する卒業生もいます。

## 特色7 学び合い、高め合い 助け合うファミリー本庄 教員集団

○教員の指導支援の足並みを揃える研修
○お互いの授業を見合い、体験する
「授業見学、他学部体験授業」
○実践を報告、みんなで検討する
「事例研修会・授業研究」
○校内職員を講師とした「自主研修」
○教材の学び合い「教材教具展」
○全教員が得意分野を登録し、個々の専門性を有効に活かす「人材バンク」
○近隣校と学び合う「合同学び合い研修」
○常に先を見据えた学校づくりを目指す
「先進校視察」 等

入学前からサポート → 各発達段階に応じた１２年間「切れ目のない」指導・支援 → 卒業後もサポート

### 就学前
学区内の就学前幼児・保護者を対象に**早期支援**（ハート教室）を年 10 回開催。
**就学前からサポートします。**

### 小学部
小学部低学年
日常生活に関わる基礎的な力を育てます。

小学部高学年
生活に関わる力を育てるとともに、集団への適応に必要な力を育てます。

### 中学部
小学部で学んだ基礎的な力を生活に応用していく力を育て、社会性、認知、コミュニケーションの力を育てます。
将来に備え作業学習を通して働く力を育てます。

### 高等部
自立と社会参加に向け、社会性、認知、コミュニケーションを中心に高めます。
働くために必要な力を、学校・現場実習・就業体験学習で身につけます。
教育課程複数化により個々の能力を最大限に伸ばします。

### 卒業後
就職先に訪問し、指導支援を行い、卒業後も見守ります。

生活支援センターと連携し、仕事を含めた生活支援を行います。

**児童生徒の障害の特性や教育的ニーズに応じた教育を推進し、一人一人が持つ能力を最大限に伸ばす教育を実践します。**